

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493300162	事業の開始年月日	H24. 4. 1
		指定年月日	H24. 4. 1
法人名	(株) 日本アメニティライフ協会		
事業所名	花物語 かもい		
所在地	(〒226-0003)		
	横浜市緑区鴨居7-1-9		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日		評価結果 市町村受理日	平成27年5月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none"> 入居者様お一人お一人の出来る事・選ぶことを大切に、自己決定が出来る生活を心がけています。 お一人お一人の外出の機会を多く持てるように、要望を伺いながらハイキング・デパートでの買い物・外食など個別の対応の企画を立て職員と外出しております。 皆様の持っている力を維持するよう家事全般を行うことで遣り甲斐や誰かの役に立つ自信を感じて頂いております。 日々の散歩・買い物など外に出ることで近隣の方とあいさつしたり、季節の花々を観たりと気分転換を図っていただいております。 地域の自治会に加入し、近隣の公園の清掃や行事に参加させて頂きながら地域住民との交流を図るようにしています。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区本町2-10 横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成27年2月9日	評価機関 評価決定日	平成27年4月30日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>【事業所の概要】 この事業所は、JR鴨居駅からバスで5分の「幼稚園前」バス停下車、徒歩3分の場所に立地する。閑静な住宅街の一角にあり、事業所前の道路が広く、近隣に公園、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、2ヶ所の団地がある。建物は木造2階建て、エレベーター付きである。前庭が広く、季節の花を植えたプランターを置いている。</p> <p>【職員提案力の活用】 月1回全職員参加のスタッフ会議とフロア会議、朝の申し送りなどで、職員は様々な提案をし、それが運営に活かされている。シフトの関係で家族と会う機会の少ない職員もいるので、職員の名前と顔写真を貼付してほしいとのご家族の要望をいち早く取り入れて、一覧表を壁に貼り付けた。また、職員の提案をもとに実現した例としては、写真を豊富に取り入れ、利用者と一緒に制作したレクリエーションの報告作品があり、家族、訪問者など目にした者を驚かせている。そこには職員の提案する力とそれを素早く認める管理者のレスポンスの早さがある。</p> <p>【利用者の人格尊重の取り組み】 事業所では毎月研修を行っているが、特に重視しているのが権利擁護・プライバシーの保護、倫理と法令遵守、接遇とマナーなどである。管理者は職員の動静、特に言葉遣いに気を配っている。「利用者にダメと言うのはダメ」という方針のもと、その都度注意して、利用者の積極的な活動を止めずに意欲を引き出す支援をしている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	花物語 かもい
ユニット名	1F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

事業所名	花物語 かもい
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念に踏まえ、住み慣れた地域で安心と安全に生活を送り、出来るだけ自立した生活が送れますよう、職員間で理念を共有し支援を行っていきます。職員へは入職時に配布し、玄関、各フロアに貼り共有をしています。	理念は2012年4月開設時に、管理者が作ったものである。職員にとって、利用者は鏡のような存在だと考えている。自分たちの態度や感情が利用者にも反映するので、笑顔でいることを心掛けている。利用者に残された力、例えば「家事をやりたい」という力を利用者自身が見つけ、気づき、生かせるように支援している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	鴨居自治会に加入し、地域の行事にも参加させていただいております。	鴨居第7地区自治会に加入しているが、隣の自治会の行事を含め積極的に参加している。餅つき大会、鏡開き、公園の清掃活動、花火大会などである。利用者が職員と一緒に回覧板を届けて、地域になじんでいる。散歩時に、尺八の奏者であるご近所の方と知り合い、それが縁で事業所に来訪して演奏してもらったケースがある。手品、バンド、フラダンスなどのボランティアも来訪している。事業所主催の「秋祭り」のチラシを配り、近所の子供たちの参加を得ている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括での研修会などに参加させて頂き、認知症や施設の利用法など、地域の方々と勉強会を行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	年6回開催し、事業所からの報告だけでなく、参加者からの意見や要望などを頂いて、運営に活かしております。災害時の助言など頂いています。	出席者は民生委員と地域包括支援センター職員、事業所職員で、地域の方や家族の参加が少ない。自治会長の出席はないが民生委員から他の地域の民生委員の紹介があり参加を得ている。家族から食事会開催の要望があり、4月1日に「設立3周年記念パーティー」を予定している。会議で地域包括支援センター職員から要請を受け、管理者は「介護の集い」で認知症の講演などを行っている。	運営推進会議の出席者が少ないので、家族や地域住民等に働きかけ、様々な立場の人から意見をもらい、運営に活かしていくことを期待します。

5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村の担当者とは連携を図り運営推進会議を開催し利用者の生活状況、事故報告、相談などを行い、また、市からの情報の提供など、随時連絡を取り合い協力関係が来ています。	管理者が緑区高齢福祉課に、運営推進会議議事録を手渡す際、運営に関する助言などを受けている。区の保健担当者を感染症予防の研修講師として招いた。	
---	---	---	---	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については常に話し合いの場を設け、身体拘束はもとより、行動制限など行わないよう、工夫したケアが行えるよう話し合い、また、研修を行い自己のケアを振り返り話し合いの場を設けています。	安全確保のために玄関は家族に説明して了解を得て施錠している。1階、2階のフロア間、ベランダは施錠してないので、利用者は自由に行き来している。「身体拘束ゼロへの手引き」を使って職員研修を行っている。管理者は職員に「利用者に対してダメ、と言うのはダメ」と常に言って、言葉での拘束に気をつけている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待、拘束の研修を行い、声かけやケアを行う上で、言葉の虐待になってないか、自己点検シートなどを活用し話し合いを行い、常に問題や疑問を解決するように努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	実際に制度を利用している方がおられるので、事業所内での研修などで制度の理解を深めていきたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前には、重要事項の説明には十分に時間をかけ書面と口頭にて説明を行い質問などについて納得されるまでご家族と話し合いを行っております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会にいらした際にご様子を伝え、意見や要望を伺い、出来るだけ要望にお答え出来るように努めています。	家族は、1か月に1回は来訪する方が多いので、その際、訪問医の受診結果を報告し、意見を聞いている。今までの家族からの要望としては、「髪が増えるように無添加のシャンプーに替えてほしい」、「訪問マッサージを入れて欲しい」などである。前者は利用者に個別対応してもらい、後者は事業所として対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議にて意見や提案を聞き、職員間で協議したり共有したりしながら意見を取り入れて日常業務に反映しています。	毎月月末に職員全員によるスタッフ会議を1時間半行い、その後、フロア会議を30分行っている。朝の申し送りでは、夜勤者からの報告を聞く。職員の意見を運営に反映した事例としては、壁に出勤職員の名前と顔写真を貼り出すようにした件がある。これは家族からの要望でもある。「利用者と一緒にレクリエーションの報告を作りたい」「洗顔できない方にホットタオルを配りたい」などの意見は、すぐに実行に移した。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	常勤・非常勤を問わず、資格手当を設け資格の取得のバックアップを行っております。各自の就労スタイルに合わせ働けるように心がけています。各自が目標を持って働けるよう努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的に法人研修や施設内研修を行い、知識、技術の向上に努めています。資格取得支援制度を設け、入社時研修などの育成を行っています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	介護事業所の連絡会の研修参加や他の事業所の交換研修を行い、質の向上に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人様のお話や生活をしていく中で困っていることや心配事、要望をくみ取り、サービスの提供につとめ、マンツーマンでの傾聴やお付添いをして安心していただけるように心がけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にアセスメントを行い、それと同時に不安・要望・困っている事などご家族様と話し合いをしていながら、協力し合える関係づくりを行っております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要に応じて、行政、医療への手続きや連絡を行い、ご家族様、ご本人様の要望や他事業所とも連携を図り支援を行っています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家事全般を共に行いながら、助けていただく事や、人生の先輩として色々と教えて下さります。気づかえる関係が築けていると思います。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人のご様子や、日々の暮らしぶりなどの情報をご家族様と共有し、精神的な支えとなって頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	ご友人の面会や電話連絡の取り継ぎなど、近況などもお伝えしながら面会や外出を行えるように配慮し、訪問しやすいように心がけています。	利用者の昔の仕事仲間や、利用者が入院していた時の仲間が訪ねてくる。事前に家族に確認を得て面会を受けている。知り合いから電話があった場合は積極的に取り次いでいる。入居前に通っていた馴染みの美容院に行きたいという方には支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の暮らしのなかで、相談しながら家事の分担を行ったり、レクレーションを皆様で行えるように工夫して助け合いの関係ができております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もお本人様、ご家族様との関係を継続しいつでも相談が出来るようにお伝えしております。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	生活のなかで、ご本人様が発言した事柄などを注目したり、ご家族様からお話を伺ったりしながら把握に努めております。また、表現が困難な方には選択肢を提示して把握・検討しております。	利用者自身が意向を表現することが難しい場合は、職員から質問をすることで、利用者の意向を把握するようにしている。意思疎通が困難な場合や言葉にしづらい思いは、利用者に寄り添って、いくつかの選択できる質問を投げかけ、表現や仕草から答えを推測している。ホワイトボードで答えをいくつか書いてその中から選んでもらう場合もある。把握した情報は申し送りで伝え、フロア会議で話し合い、職員間で共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の生活状況やご家族との関係など、ご本人様、ご家族様にお話を伺い、サービス提供事業所などからも情報を収集して把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活ペースに合わせて起床、就寝、食事の時間などその日の心身の状態やご本人様の希望の沿い、出来ない事は職員と一緒にしながら現状の把握をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護職員・看護師・介護支援専門員のそれぞれの立場で話し合い、ご家族様の希望や医師からの助言などを頂き、介護計画を作成しています。また、介護職員はご利用者様の担当となり、モニタリング・カンファレンスに参加して見直しをしています	アセスメントで課題を抽出し、利用者、家族に確認している。居室担当者は、サービス内容を記載したサービス計画書を提出し、それを基に法人の介護支援ソフトを使って計画作成担当者が介護計画を作成している。居室担当者は「お過ごし記録」を使ってモニタリングを行い、プランの達成状況をかくにん評価し、改善を図っている。	
		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や状態は記録に記入し、カンファレンスや担当者会議などで情報を共有し介護計画に反映している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	サービス提供事業所、ボランティア等を活用し、状況やニーズに即した支援を行っております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会、地域の行事に参加したり、近隣の住民の方のお手伝いをさせていただきながら、豊かな楽しみある生活が出来るように支援を行っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問医とご本人様、ご家族様、事業者が協議のうえ、治療方針を決め、病気の治療や経過観察を行っています。また、外部の専門医との連携を図り適切な医療が受け入れられるよう関係を構築しています。	現在は、利用者全員が事業所の協力内科医を受診している。内科医の往診は2週に1回、歯科医は毎週1回である。他の科目の診療は原則として家族対応だが、止むを得ない場合は支援している。眼科医と耳鼻咽喉科の医師は3か月に1回来てくれる。利用者の入居時に、訪問医の医事課が家族にオンコールや通院について、説明している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置し、利用者の健康管理や状態変化に応じた支援をしております。不在時には24時間オンコール体制をとり、利用者の状態について、適時報告し指示を受けています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は訪問医からの医療情報の提供や日々の生活状況を提供しており、入院から退院まで医療機関相談員との連絡や情報交換を行い、退院時にはスムーズに受け入れが出来るようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に向けた方針を入居時に同意を頂き、重度化した場合において、ご家族や、訪問医、ご本人様、職員が話し合いの場を設け、その方にあった終末期の迎え方を共有しています。	「利用者の状態が重度化した場合の対応に関する指針」を契約時に説明している。重度化した場合の延命処置について、家族間での話し合いを促している。事業所で看取りを行ったことはないが、亡くなる直前まで事業所で対応した事例が昨年12月にあった。このことがあってから、夜勤時の救急体制について、職員間で話し合った。	重度化した場合の対応指針の共有と、職員の研修体制の充実を期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応については緊急時のマニュアルを作成し、研修を行っている。看護師による、実践的な指導を受けております。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署立ち合いのもと、年2回夜間想定避難訓練や災害を想定した訓練を利用者様に参加していただき、タイムトライアルを行っています。また、日々の火災予防点検を毎日行っております。	年2回、うち1回は夜間想定避難訓練を実施している。緊急連絡網を作成しており、緊急時には民生委員と自衛消防団の一人が来ることになっている。消防署から出勤職員の名前が分かる表を作ってほしいとの要望があり、担当表一覧を壁に貼っている。自治会の訓練には、職員が参加している。これまでの訓練で、利用者参加の「タイムトライアル」を行い、居室から逃げ延びる時間や、階段を使えるかなどを検証している。1階と2階の物品庫に、3日分の水、食料、オムツなどの備蓄がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であるという認識をもって接し接遇について失礼がないように心がけ、ミーティングや研修を行っています。その方らしさや個性を大切に話し方など考えながら対応をしています。	権利擁護・プライバシーの保護、接遇とマナーなどの研修を行っている。管理者は事務室ドアを開放することにより職員の動静に気を配っている。「ダメと言うのはダメ」という方針を徹底し、「ちゃんづけ」や「ちょっと待ってて」などの言葉が出ないように注意している。個人情報に関わる書類は事務室の施錠できるロッカーに保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	生活習慣や価値観を大切にし、出来るだけ自己決定できる場面を作っている。例えば毎日では10時のお茶の希望を聞く。行事食のリクエストなど日常のコミュニケーション時に利用者を選択する機会や思いや希望を聞いています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人らしい生活のリズムを尊重し、デイルームで賑やかな方がいい方は楽しく皆と。一人で静かな時間を過ごしたい方は居室で。と本人の意向を汲んでいる。行事などの時は声掛けしてなるべく楽しい時間を共有してもらっている。大切にしているのは急がせないこと。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	髪の長い方には結わう手伝いをしたり、髪のカット・カラーなどは毎月の訪問理美容を希望される方には利用してもらっている。日頃の身だしなみや外出時の着替えなど支援している。		

40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>出来る方には職員と一緒に調理の下ごしらえ、味見、盛り付けなど力を出してもらいまた本人の嗜好や食事量にも配慮している。食事時には音楽を流したり雰囲気づくりもしている。</p>	<p>献立と食材は専門業者が前日に配達している。調理は職員が行って温かいものを提供している。献立について希望があれば、配達をキャンセルして、希望の料理を全員に提供している。分量、ワンプレート、ランチョンマット使用など、個別に対応している。利用者のできる方は調理の手伝い、下ごしらえ・味見・盛り付け、下膳、ランチョンマット拭きなどを行っている。そば屋、ファミリーレストランへの外食の楽しみもある。</p>	
----	----	--	---	---	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えたメニュー・材料を業者に依頼しておりまた嗜好にも配慮している。水分量や飲み物の種類等も記録し偏りの無い様にしている。偏食のある方には調理方法を工夫したり代替え品で提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後には口腔ケアが行えるように準備を行い食後には全員が出来るように声掛けを行っている。ご自分では十分磨けない方にはお手伝いをしている。週1の訪問歯科医との連携をとり状態を報告し対応方法を指導して頂いている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	その人の排泄の間隔を観察し排泄の失敗やおむつの使用の減少に努めている。失敗がある方には時間で排泄の声掛けをしているが拒否がある場合は時間を空けたり対応者を替えたりして失敗を減少できるよう支援している。	ほとんどの利用者が排泄については自立している。事業所独自の個人記録様式「お過ごし記録」で排泄パターンや習慣を把握し、声かけ誘導してトイレでの排泄の支援をしている。リハビリパンツの方が数名で、オムツ使用者はいない。失禁した利用者には、「着替えを忘れたから着替えましょう」などと職員の過失を装ってさりげなく対応している。トイレの温蔵庫に、排便時にお尻を拭く温かいタオルが用意されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	バランスの良い食事を提供することで便秘の解消になっている。また日々の水分摂取・散歩や体操に参加してもらうことで予防が出来る。それでも便秘の方には看護師や訪問医師に相談している。		

45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴日は基本的には決まっているがご家族の面会、行事、外出、本人の体調・気分が乗らないなど臨機応変に対応している。入浴が難しい場合には清拭や足浴を行い清潔が保持でき、気分も爽快になるよう支援している。また季節感を大切にしょうぶ湯、ゆず湯、またバラ風呂など喜んでいただいている。</p>	<p>入浴は原則として週2回、午後となっているが、希望により時間や回数を変えるなど柔軟に対応している。入浴したがない利用者には声かけなどを工夫してできるだけ入ってもらっている。男性には「一番風呂をどうぞ」などと誘い入ってくれた例がある。入浴剤は使わず、菖蒲湯、ヒノキ湯、バラ湯、お茶のバック湯などのように自然のものを使ったお湯を楽しんでいる。空調設備で脱衣室の温度調整をしている。お風呂場の湯船に沿って長椅子を設置して、利用者が長椅子に腰かけてスムーズに湯船に入るように配慮している。</p>	
----	----	---	--	--	--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	休む時間は一人一人違うのでその 時々の状態を尊重し支援してい る。入床の際には部屋の温度や湿 度を管理し定時巡視時もチェック を行っている。食後の昼寝・デイ ルームでの傾眠も夜の睡眠の妨げ にならない程度に自由にもら っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	薬情報を確認できるように薬だけ の独立したファイルの棚に用意し てある。更新した最新の情報をフ ァイルしてある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 せるように、一人ひとりの生活歴や 力を活かした役割、嗜好品、楽しみ ごと、気分転換等の支援をしている	家事が好きな方には様々な仕事を 用意し役割を担ってもらっている 。例えば調理・洗濯物干し・洗 濯物たたみ・掃除・花の手入れ 等。また塗り絵や歌、カードゲー ムなど其の方に応じたレクリエー ションの提供も行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	散歩の好きな方にはお天気の良い 日には一緒に公園まで歩いたり、 遠くまで歩けない方には施設の周 りを歩いたり外気浴を楽しんでも らっている。外出の機会を作っ てくれる家族もいる。工場見学や初 詣、紅葉狩など大きな行事の計画 実行も行っている。	散歩は雨の降らない限り毎日行っ ている。散歩に行く人が特定の 人に偏らないよう「お散歩チェッ ク表」を作っている。車いすの方 も一緒に午前中20～30分くら い、近所の公園に行く。散歩に行 きたくない方はドライブに誘い、 スーパーマーケットで買物をする 。ワゴンで梅見や鴨居のショッピ ングセンターに、日常的に出かけ ている。バスでビール工場、こ どもの国、川崎大師初詣など大 きな外出は、年に4～6回ある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援してい る	本人が管理できる方にはお金を 持ってもらっているが、管理の難 しい方には事務所で預かっており 希望時にはいつでも出し入れが 出来るように支援している。近く にコンビニやCOOPもあるので希 望時には職員と買い物も出来る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望する場合は使用してもらっている。手紙のやり取りも自由に出来るように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の場が心地よい様に整理整頓・清掃を心がけている。季節を感じてもらえるように展示や写真、手作りのカレンダーなどに配慮している。トイレやお部屋がわかり易い様に案内表示を貼っている。	玄関を始め、リビングのテーブル、廊下などに、毎週「花守」が活けた生花が数多く飾られ「花物語」を演出している。「花守」の職員は半年に1度交替している。廊下には顔写真入りのスタッフ紹介や行事の写真がある。利用者が迷わないように「お便所はこちらです」などの表示がドアにされている。訪問日には2階には7段飾りのお雛様、1階壁面には節分で利用者が作った多様な鬼の面が飾ってあった。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルの自席のほかにソファでくつろげるように配置している。気の合ったもの同士でテレビを観たりおしゃべりしたりして過ごしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居されるにおいて馴染みの家具や布団などをお持ちいただき安心して生活を始めていただいている。	居室のベッド、エアコン、照明、洗面台は備え付けである。カーテンは持込の防災カーテンである。利用者は加湿器、寝具、小物入れ、チェスト、椅子、テレビ、家族の写真、高倉健や嵐のプロマイドなど思い思いのものを持ち込んでいる。ドアに大きく名前を表示し、花飾りや貼り絵などで自分の部屋が分かるようにしてある。見守りが必要な利用者の場合は、紙の小さな箱をドアの端に置き、ドアを締め切らないようにして、安全が確認できるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心・安全に自立した生活が出来るように配慮している。バリアフリーで安全に生活でき必要な個所には案内表示をし自立できる生活が出来るように支援している。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 花物語かもし

作成日 平成27年5月7日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		運営推進会議の参加人数が限られてきている 会議を充実させたい	地域住民へも運営推進会議に参加して頂く	地域住民に会議を知らせる資料作りと配布を行う。 行事に合わせて会議を行う様にする	1年
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。